



☆☆「PHOENIX」カラー版は、宮原中学校ホームページでご覧いただけます。☆☆

卒業生が巣立った学校は、校舎もグラウンドもどこか寂しさを感じさせます。しかし、2週間後には新入生を迎え、新しい宮原中学校が出発します。みんなが力を合わせて、一人一人が自分の学校に誇りが持てる、そんな学校にしてほしいと思います。

保護者・地域の皆様、この1年間、本校への温かいご支援、ご協力、誠にありがとうございました。4月には教職員も新しい体制となり、心機一転、よりよい学校づくりをめざして頑張っています。新年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



第74回 卒業証書授与式

3月13日(土)、卒業証書授与式が挙行されました。コロナ対策のため、今年度も簡略化された式となりましたが、保護者、教職員に見守られ、卒業生42名が、立派に宮原中学校を巣立っていきました。

式後の最後の学活では、一人一人が中学校生活を振り返って自分の思いを語りました。同じ時間を過ごした仲間たちが、みんな感動の涙を流し、とても温かい気持ちが教室にあふれていました。



学校長式辞(抜粋)

この1年間は、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れる1年となってしまいました。本当に大変でしたね。みなさん、よく頑張りました。

マスクの着用や部活動の制限など、お互いの命を守るためということを理解し、よく協力してくれました。そして、文化発表会では、活動にいろいろな制約があってもあきらめず、感染防止のために、合唱の代わりに取り入れたハミングコンクールや総合的な学習の発表に工夫を凝らして真剣に取り組み、後輩により手本を示してくれました。卒業生のみなさんの頑張りに感謝しています。

そうやって頑張ってきたみなさんは、これからの将来に役立つとても貴重な経験ができたと思います。それは「やればできる」という経験です。また、つらいとき、苦しいときに笑い合い、励まし合える友達、温かい家族、親身になって相談にのってくださった先生方、そういった自分を支えてくれた人への感謝の気持ちも、こんな状況だったからこそ、より感じることはできたのではないのでしょうか。

ところで、新型コロナウイルスの猛威に対して、日本でもワクチン接種が始まり、ようやく先に光が見えてきました。これまで開発が最速だったと言われるおたふく風邪のワクチンでさえ、実用化まで4年もかかっています。しかも、新型コロナウイルスワクチンは非常に優れた効果が報告されています。では、なぜわずか1年で開発することができたのでしょうか。

それは、第一にたくさんの研究者がさまざまな分野で地道に研究を続けてきた何十年という知識や技術の土台があったからです。そして、今回ワクチンを開発するために、何週間も家族とも会わずに仕事をした研究者も多くいました。また、研究者の努力だけではなく、医療現場スタッフ、企業、各国の政府が危機感を共有し、国境を越えて協力しました。さらに、ファイザー社のワクチンだけでも、44000人もの方が臨床試験に協力し、ワクチン接種を受けて安全性や有効性を身をもって確かめる実験に参加しました。こう

して、ワクチンは通常の開発のためのステップを省略することなく、驚くべきスピードで実用化されたのです。

私たちは、これからも様々な問題に直面することでしょう。しかし、このワクチン開発のように、それぞれの分野の知識や技術を持ち寄り、また自分の立場で協力できることを考え、みんなが力を合わせれば、乗り越えられない困難はありません。



そこで、みなさんに覚えてほしい言葉があります。社会の歴史でも習った平安時代の僧、最澄の有名な言葉です。聞いたことがあるでしょうか。それは「一隅（いちぐう）を照らす」という言葉です。「一隅」とは、広い場所の片隅のことです。最澄は、「一隅を照らす、これ則ち国宝なり」と述べています。「一人一人が自分の仕事、持ち場に光を当てる精一杯の努力をする。その光が集まれば、国全体をも照らす大きな力になる。」という意味です。わかりやすくいえば、一人一人が自分の仕事、自分の役割に全力を尽くすことが何よりも素晴らしい。なぜなら、その成果が集まれば、社会全体を発展させる大きな力となり、どんな難しい問題にも対応できる社会の底力になるからだとのことです。



卒業生のみなさん、それぞれ自分の進む道で光を放ち、一隅を照らしてください。みなさんの活躍に期待しています。

みなさんの希望に満ちた前途を祝し、私の式辞といたします。

立志式

3月17日(水)、1年生が立志式を行いました。

この日の決意表明に向けて、まず自分の夢や目標を文章に整理してまとめ、明確にしていきました。

そして、当日、友達や保護者の方に夢の実現に向けての決意を伝えることで、それを実行していこうという意欲が高まりました。また、クラスメートの発表を聞き、お互いに応援しあう気持ちを持つことができました。



【生徒の感想から】

「今回の立志式を通して、今まであいまいだった夢がはっきりしました。そして、はずかしかったけれど、友達や家族に聞いてもらうことで、夢を叶えようと思うことができました。」

第40回 一人じゃないよ！事業

3月4日(木)、12月3日以来の「一人じゃないよ！事業」を行いました。コロナ対策でしばらく中止していたため、参加した生徒がいつもより少なくなっていました。

平成29年2月に始まったこのボランティア活動は、今回で40回目となりました。先輩達の思いを受け継いで、宮原中生徒がこれまで地域のお年寄りの方のために頑張ってきた取組です。ぜひ、今まで参加したことのない生徒にもこれから進んで参加してほしいと思います。



《教職員の異動》

- 退任 … 上 仁和 教頭 , 岩城 和彦 教諭 , 二井 美佳 学校生活適応支援員
転出 … 須藤 敏清 校長 (廿日市市立四季が丘中学校へ)
石井 秋江 事務長 (倉橋中学校へ) , 中本 智子 生徒指導員 (呉中央中学校へ)
転入 … 馬屋原(まやはら)美智子 校長 (大崎上島町立大崎上島中学校から)
荒本 礼二 教頭 (広南中学校から) , 江角 智之 事務長 (両城小学校から)
徳江 勝 生徒指導員 (呉中央中学校から)

※離任式は、生徒・教職員のみ参加で行います。 ※今後の着任者は、4月に入ってお知らせします。

<今後の主な行事予定>

- | | | | | |
|---------|------------|--|--------|--------------|
| 4月6日(火) | 就任式・始業式 | | 19日(月) | 授業参観・PTA総会 |
| 7日(水) | 入学式 | | 24日(土) | 25日(日) |
| 13日(火) | 一人じゃないよ！事業 | | | 市民大会(野球・バスケ) |